

文化芸術団体の活動等への
新型コロナウイルスの影響に関する
アンケート調査 報告書

令和 3 年 9 月
社会教育部文化振興課

第 1	調査の概要		1 頁
第 2	結果の概要		3 頁
第 3	集計表		1 2 頁
第 4	(参考) アンケート調査票		1 3 頁

第 1 調査の概要

1 目的

今後の文化振興の推進に資するため、新型コロナウイルスの感染拡大を受けての文化芸術団体の活動状況や現在の課題などを把握することを目的とする。

2 調査対象団体

497 団体

(旭川市民文化会館・クリスタルホール・公民館・補助金制度
・後援名義等の使用団体から抽出した文化芸術団体)

3 実施期間

令和 3 年 6 月 1 日から令和 3 年 7 月 20 日まで

4 調査方法

郵送による

5 有効回答率

55.3% (小数点第 2 位以下四捨五入)

(調査対象：497 件のうち、有効回答数：275 件)

6 収集情報の取扱い

団体連絡先及び問 11 の記載内容は非公表とする。

7 調査項目

問 1 会員数の増減

問 2 会員の平均年齢 (中心となる年齢層)

問 3 練習や創作活動などを行う頻度

問 4 練習, 創作活動などの頻度の変化

問 5 今後の練習, 創作活動などの頻度

問 6 イベント・発表会などの開催予定・開催時期

問 7 (コロナ禍でなかった場合) イベント・発表会などの開催予定・開催時期

問 8 文化芸術活動を行う際の主な財源

問 9 課題 (感染対策以外)

問 10 市に対する要望

問 11 問 10 に関する具体的な意見

8 調査結果の考察

◆団体の会員の状況

- ・団体の高齢化が進むなか、コロナ禍等の影響もあり約 4 割の団体で会員が減少しており、団体規模が縮小していることが窺える。

◆練習・創作活動の実施状況

- ・コロナ禍により練習・創作活動の頻度が減少している団体が約 8 割を占めており、平成 30 年度の調査時点と比較して、練習頻度が概ね週 1～2 回から月 1～3 回程度に減少しているとともに、活動を行っていない団体の割合も増加していることが窺える。
- ・今後の練習・創作活動の見込みについては、新型コロナウイルスの感染拡大が収束していないこと等により、現状維持で様子を見ている状況が窺える。

◆イベント・発表会の開催状況

- ・コロナ禍によりイベント・発表会を開催する団体数と開催回数が減少し、文化・芸術活動を行う者の練習・創作活動の成果発表の機会が大幅に減少していることが窺える。
- ・一定数の団体が新型コロナウイルスによりイベント・発表会の開催を見合わせている一方で、感染状況に応じて今秋以降の開催を期していることが窺える。

◆団体の運営状況

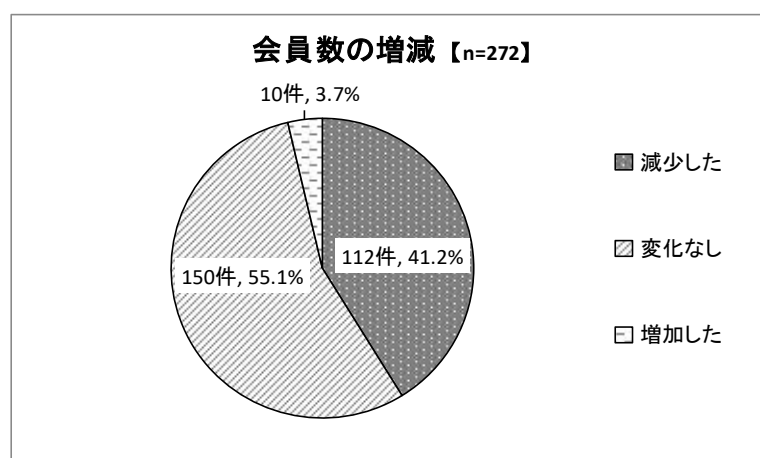
- ・大半の団体は「会費収入」や「チケット代や売り上げ」といった自主財源により運営している。
- ・「会員の確保」や「高齢化に伴う後継者不足」を課題としている団体が多いことについては、平成30年度の調査時点と変わらないが、今回の調査では「活動や成果発表を行う場所の確保」を挙げる団体が増えている。

第2 結果の概要

◆令和2年2月以降（コロナ禍）の状況について

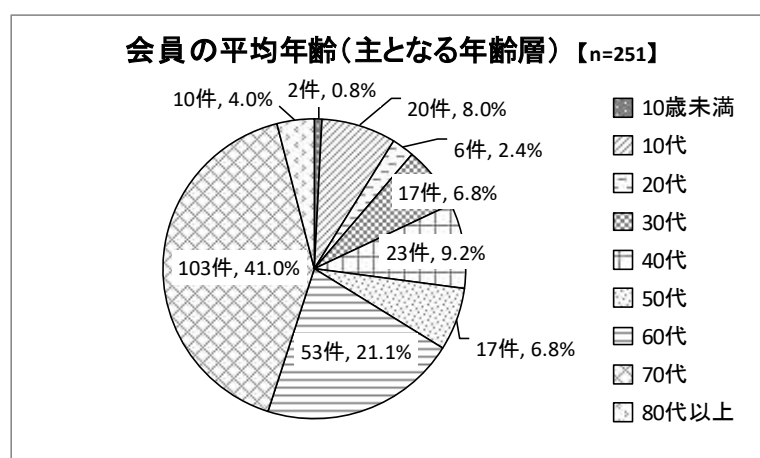
問1 令和2年2月と現在（令和3年5月）との会員数の増減をお答えください。

令和2年2月と比較した現在（令和3年5月）の会員数の増減は、「変化なし」が150件（55.1%）で最も多く、次いで「減少した」が112件（41.2%）、「増加した」が10件（3.7%）である。



問2 現在の会員の平均年齢（中心となる年齢層）をお答えください。

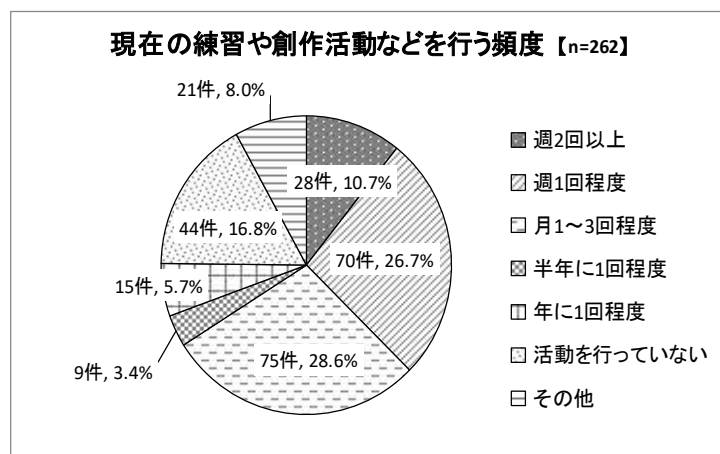
会員の平均年齢は、「70代」が103件（41.0%）で最も多く、「60代」が53件（21.1%）、「40代」が23件（9.2%）と続く。



問3 現在の練習や創作活動などを行う頻度をお答えください。

※イベントや発表の場を除く

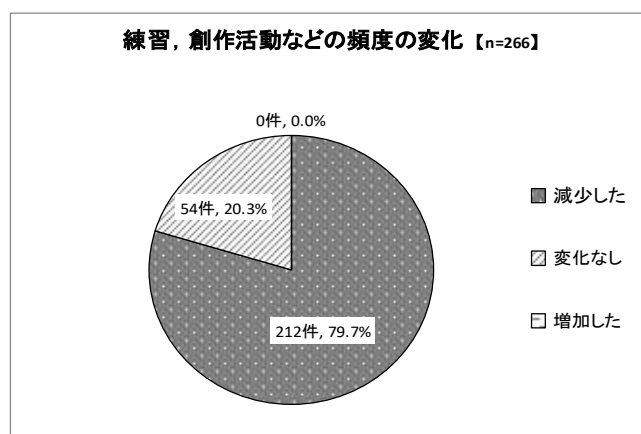
現在の練習や創作活動などを行う頻度は、「月1～3回程度」が75件（28.6%）で最も多く、「週1回程度」が70件（26.7%）、「活動を行っていない」が44件（16.8%）と続く。



※平成30年度に実施した調査では、「週1回程度」という回答が44.1%で最も多く、次いで「週2回以上」が18.8%であったことから、頻度が大幅に低下していることが窺える。
 ※平成30年度に実施した調査では、「活動を行っていない」という選択肢はなかったが、「その他」の内容として「活動を行っていない」とした回答と「無回答」を合わせても4.8%であったことから、「活動を行っていない」団体の割合が増加していることが窺える。

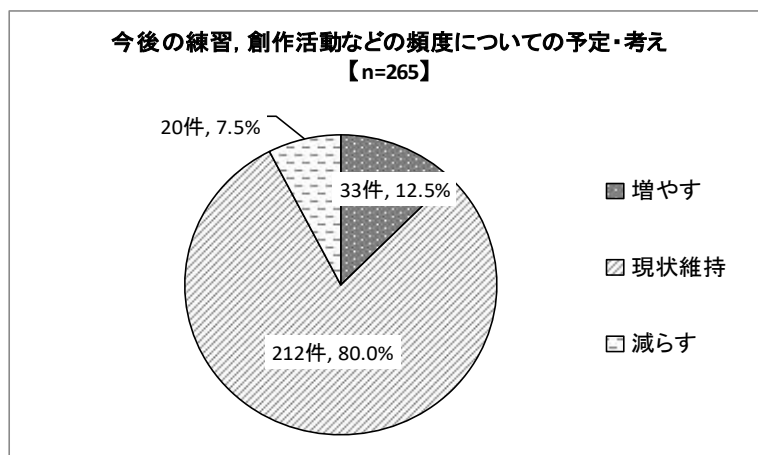
問4 コロナ禍前と比較した練習、創作活動などの頻度の変化をお答えください。

コロナ禍前と比較した練習、創作活動などの頻度の変化は、「減少した」が212件（79.7%）で最も多く、次いで「変化なし」が54件（20.3%）であり、「増加した」と回答した団体はなかった。



問5 今後の練習，創作活動などの頻度についての予定や考えをお答えください。

今後の練習，創作活動などの頻度については，「現状維持」が212件（80.0%）で最も多く，次いで「増やす」が33件（12.5%），「減らす」が20件（7.5%）である。

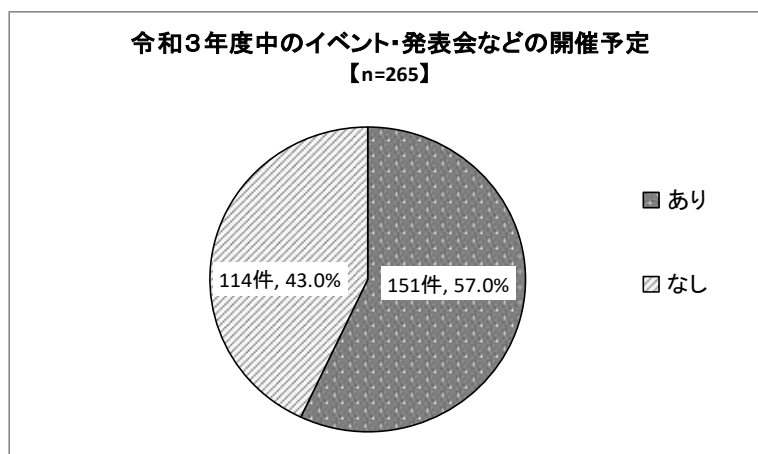


◆頻度を増やす時期

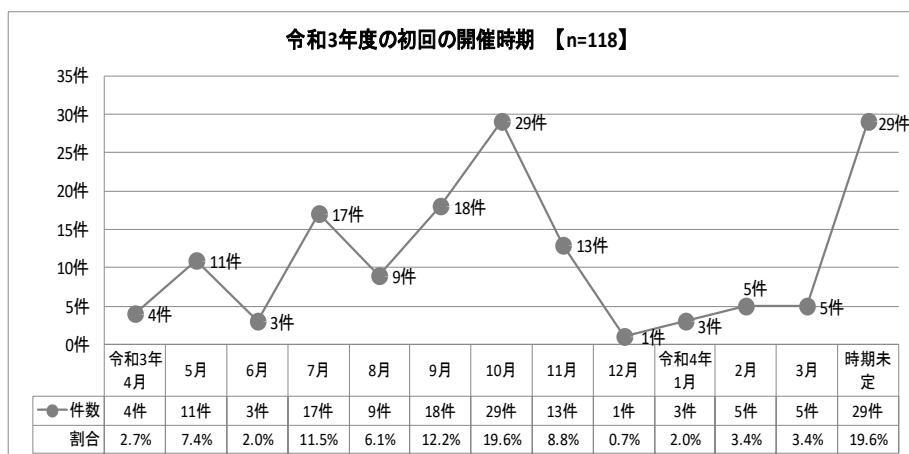
- ・コロナ収束後：8件
- ・緊急事態宣言の終了後：3件
- ・ワクチン接種の状況を見て判断：3件
- ・令和3年9月：3件
- ・令和3年7月：2件
- ・令和3年8月：2件
- ・令和4年以降：2件 など

問6 令和3年度中のイベント・発表会などの開催（主催するもの）について、お答えください。

令和3年度中のイベント・発表会などを開催する予定のある団体は151件（57.0%）、開催する予定のない団体は114件（43.0%）である。



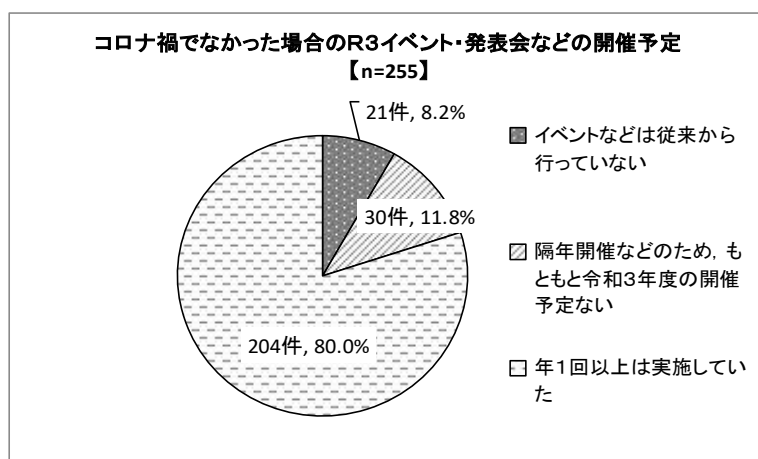
初回の開催時期の予定は令和3年「10月」と「時期未定」が29件(19.6%)で最も多く、「9月」が18件(12.2%),「7月」が17件(11.9%)と続く。



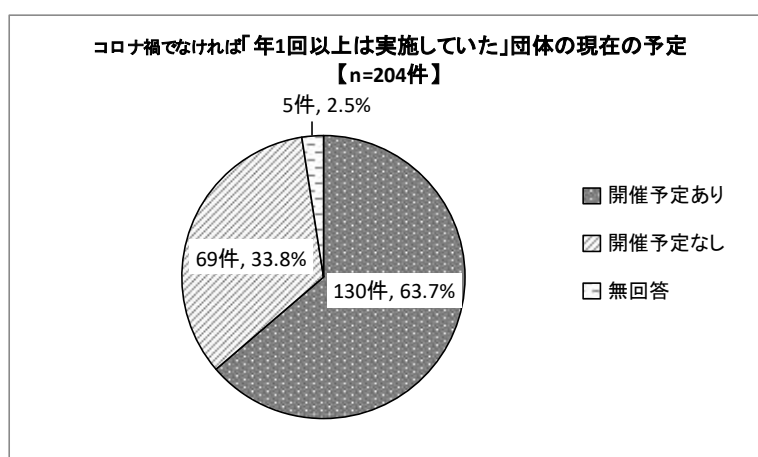
◆開催予定のある団体151件のうち複数回の開催予定を回答した団体は38件（25.2%）であった。また、開催回数の平均は1.7回であった。

問7 【例年との比較】問6の回答について、コロナ禍でなければ（例えば令和元年度どおりならば）、令和3年度の開催時期がどのような予定であったのか、お答えください。

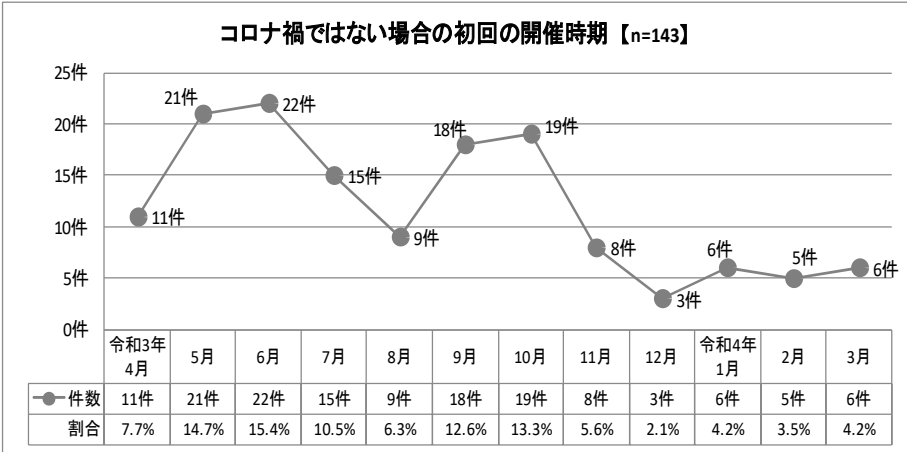
コロナ禍でなければ、令和3年度中にイベントなどを「年1回以上は実施していた」団体は204件（80.0%）、「隔年開催などのため、もともと令和3年度の開催予定はない」団体は30件（11.8%）、「イベントなどは従来から行っていない」団体は21件（8.2%）である。



コロナ禍でなければ「年1回以上は実施していた」と回答した団体204件のうち、問6で現在「開催予定あり」と回答していた団体は130件（63.7%）、「開催予定なし」と回答していた団体が69件（33.8%）である。



コロナ禍でなければ開催していた令和3年度のイベントなどの初回開催時期は、令和3年「6月」が22件(15.4%)で最も多く、「5月」が21件(14.7%),「10月」が19件(13.3%)と続く。

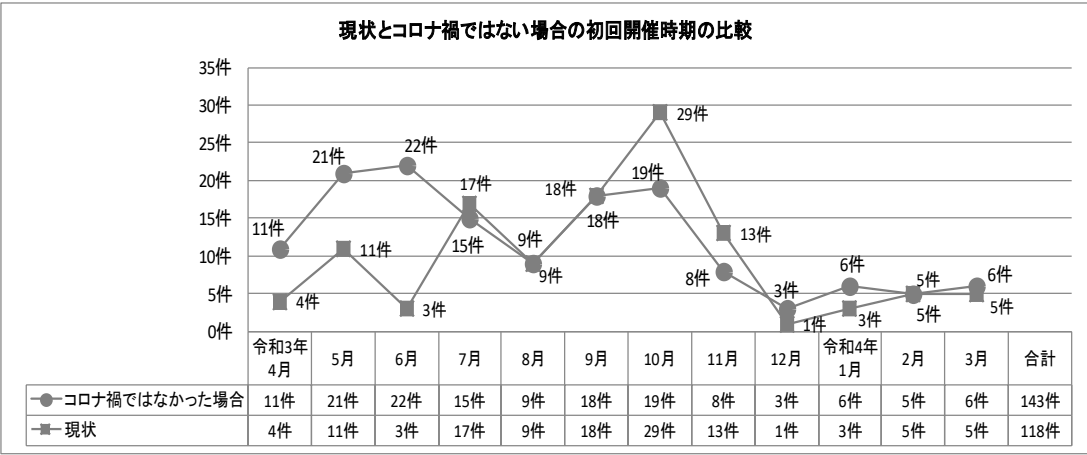


◆年1回以上実施していた団体204件のうち複数回の開催予定を回答した団体は92件(45.1%)であった。また、開催回数の平均は2.6回であった。

◆コロナ禍によるイベント・発表会の開催数と初回開催時期への影響(問6と問7の比較)

コロナ禍でなかった場合は、204件の団体がイベント・発表会を開催予定であり、初回開催時期で最も多いのが「10月」で19件、次いで「6月」が22件、「5月」が21件と続く。

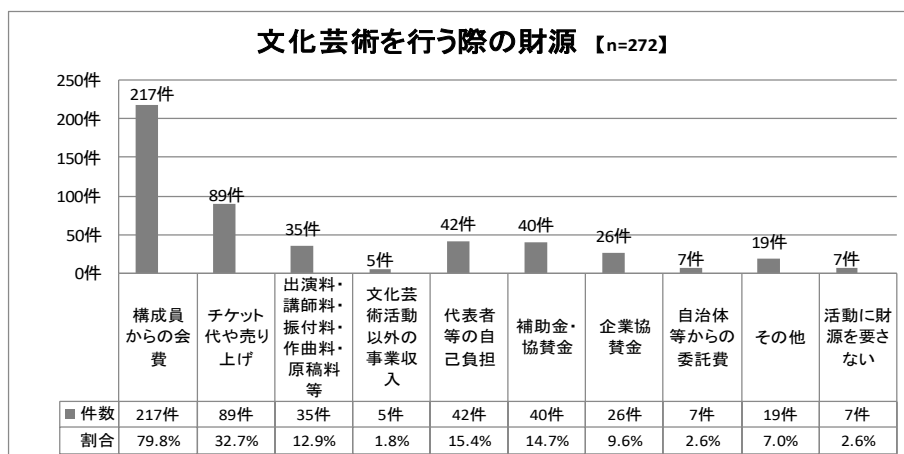
一方、現状は、開催予定の団体が130件とコロナ禍でなかった場合の63.7%まで減少した。また、初回開催時期については、「10月」が29件で最も多く、次いで「9月」が18件、「7月」が17件となり時期を小幅に延期していることが窺える。



問 8 団体が文化芸術活動を行う際の主な財源をお答えください。

【複数回答可】

文化芸術活動を行う際の主な財源は、「構成員からの会費」が 217 件（79.8%）で最も多く、「チケット収入や売り上げ」が 89 件（32.7%）,「代表者等の自己負担」42 件（15.4%）と続く。

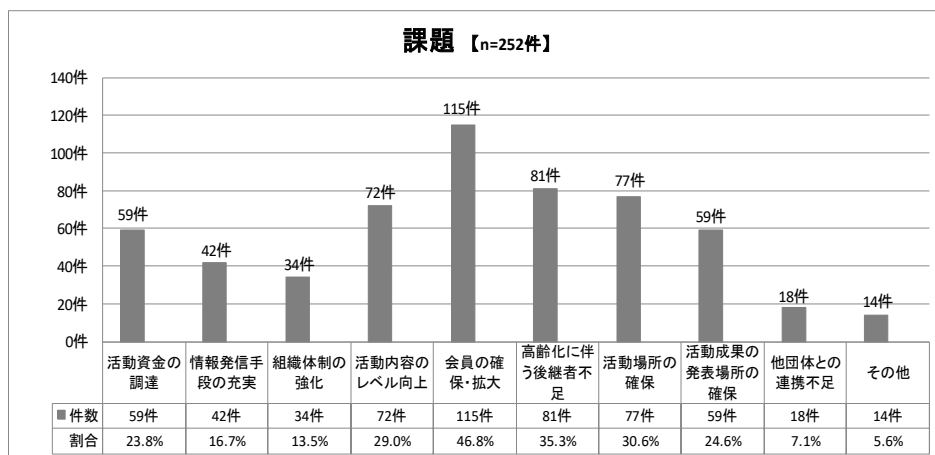


◆その他の記載内容

- ・構成員（会員）の自己負担（部費）：4 件
- ・会場使用料の減免を受けている：3 件
- ・大会参加費（参加料）：2 件
- ・無回答：10 件

問9 コロナ禍で活動を行うにあたり、感染対策への取組のほかに、どのような課題がありますか。 【3つまで】

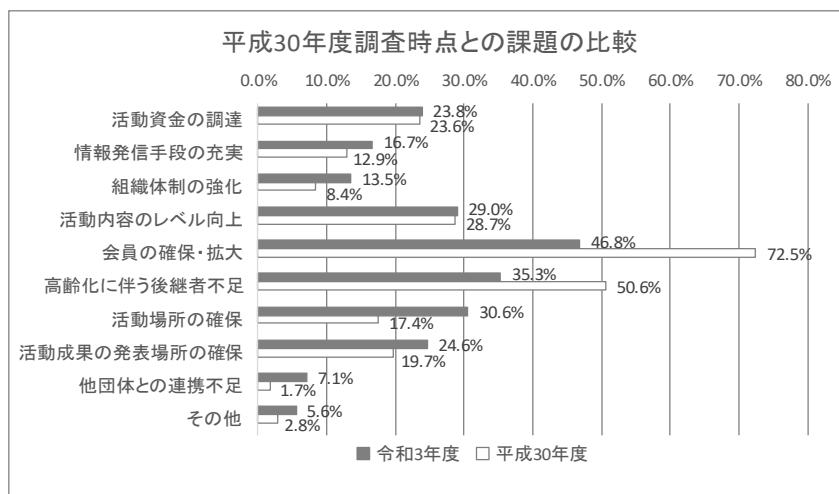
コロナ禍の活動における課題（感染対策以外）として、「会員の確保・拡大」が115件（46.8%）で最も多く、「高齢化に伴う後継者不足」が81件（35.3%）、「活動場所の確保」が77件（30.8%）と続く。



◆その他の主な記載内容

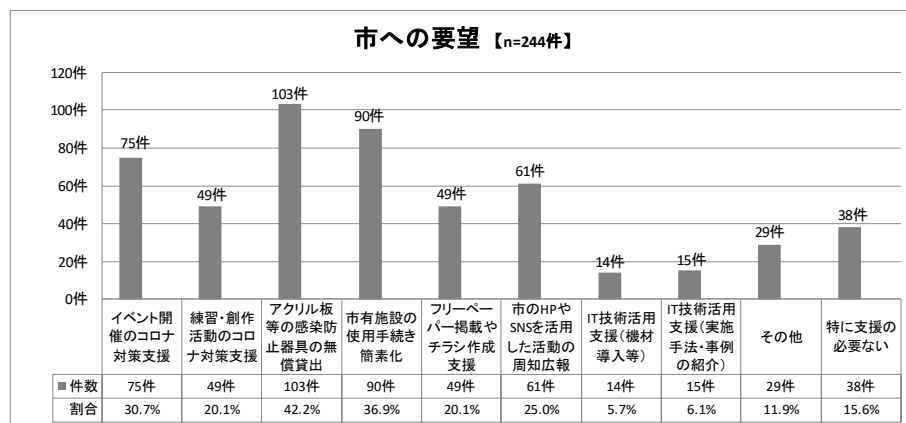
- ・コロナ禍で活動を行う事への会員・家族・地域住民の理解を得ること：3件
- ・各出演者のモチベーションの維持：1件
- ・関連機器の更新のコスト：1件 など

平成30年度に実施した調査と同様、「会員の確保・拡大」が46.8%、「高齢化に伴う後継者不足」が35.3%と回答の上位を占めるが、それぞれ割合が大幅に減少した一方で、「活動場所の確保」が30.6%で13.2ポイント増加、「活動成果の発表場所の確保」が24.6%で4.9ポイント増加となった。



問 10 コロナ禍における活動の維持や今後の地域の文化振興のため、市に対する要望などがありますか。 【3つまで】

コロナ禍で活動をする上での市に対する要望としては、「感染防止に関する器具（アクリル板、非接触型体温計など）の無償貸し出し」が 103 件（42.2%）で最も多く、「市有施設の使用手続の簡素化（電話やインターネットでの受付）」が 90 件（36.9%）、「イベント開催におけるコロナ対策の取組に対する支援」が 75 件（30.7%）と続く。



◆その他の主な記載内容

- ・施設・駐車場使用料の減額：4 件
- ・施設設備の新しいものへの入替：2 件
- ・助成金等の制定・案内：3 件
- ・施設のインターネット環境の整備：2 件
- ・イベント中止に対する出演者・関係者の心のケア：1 件 など

第3 集計表

問1 会員数の増減

SA,n= 272件

	減少した	変化なし	増加した
件数	112件	150件	10件
割合	41.2%	55.1%	3.7%

問2 会員の平均年齢(主となる年齢層)

SA,n= 251件

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
件数	2件	20件	6件	17件	23件	17件	53件	103件	10件
割合	0.8%	8.0%	2.4%	6.8%	9.2%	6.8%	21.1%	41.0%	4.0%

問3 現在の練習や創作活動などを行う頻度

SA,n= 262件

	週2回以上	週1回程度	月1〜3回程度	半年に1回程度	年に1回程度	活動を行っていない	その他
件数	28件	70件	75件	9件	15件	44件	21件
割合	10.7%	26.7%	28.6%	3.4%	5.7%	16.8%	8.0%

問4 コロナ禍前と比較した練習、創作活動などの頻度の変化

SA,n= 266件

	減少した	変化なし	増加した
件数	212件	54件	0件
割合	79.7%	20.3%	0.0%

問5 今後の練習、創作活動などの頻度についての予定・考え

SA,n= 265件

	増やす	現状維持	減らす
件数	33件	212件	20件
割合	12.5%	80.0%	7.5%

問6 (1)令和3年度中のイベント・発表会などの開催予定

SA,n= 265件

	あり	なし
件数	151件	114件
割合	56.8%	43.2%

(2)(予定ありの場合)初回の開催時期

SA,n= 118件

	令和3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年1月	2月	3月	時期未定
件数	4件	11件	3件	17件	9件	18件	29件	13件	1件	3件	5件	5件	29件
割合	2.7%	7.4%	2.0%	11.5%	6.1%	12.2%	19.6%	8.8%	0.7%	2.0%	3.4%	3.4%	19.6%

問7 (1)コロナ禍でなかった場合の令和3年度中のイベント・発表会などの開催予定

SA,n= 255件

	イベントなどは従来から行っていない	隔年開催などのため、もともと令和3年度の開催予定ない	年1回以上は実施していた
件数	21件	30件	204件
割合	8.2%	11.8%	80.0%

(2)コロナ禍でなかった場合「年1回以上は実施していた」団体の現在の予定

	開催予定あり	開催予定なし	無回答
件数	130件	69件	5件
割合	63.7%	33.8%	2.5%

(3)(年1回以上は実施していた場合)初回の開催時期

SA,n= 143件

	令和3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年1月	2月	3月
件数	11件	21件	22件	15件	9件	18件	19件	8件	3件	6件	5件	6件
割合	7.7%	14.7%	15.4%	10.5%	6.3%	12.6%	13.3%	5.6%	2.1%	4.2%	3.5%	4.2%

※コロナ禍による令和3年度イベント・発表会開催への影響

	令和3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和4年1月	2月	3月	合計
現状	4件	11件	3件	17件	9件	18件	29件	13件	1件	3件	5件	5件	118件
コロナ禍でなかった場合	11件	21件	22件	15件	9件	18件	19件	8件	3件	6件	5件	6件	143件

問8 文化芸術活動を行う際の財源

LA(3つ),n= 272件

	構成員からの会費	チケット代や売り上げ	出演料・講師料・振付料・作曲料・原稿料等	文化芸術活動以外の事業収入	代表者等の自己負担	補助金・協賛金	企業協賛金	自治体等からの委託費	その他	活動に財源を要さない
割合	79.8%	32.7%	12.9%	1.8%	15.4%	14.7%	9.6%	2.6%	7.0%	2.6%
件数	217件	89件	35件	5件	42件	40件	26件	7件	19件	7件

問9 コロナ禍で団体の活動を行うに当たっての課題

LA(3つ),n= 252件

	活動資金の調達	情報発信手段の充実	組織体制の強化	活動内容のレベル向上	会員の確保・拡大	高齢化に伴う後継者不足	活動場所の確保	活動成果の発表場所の確保	他団体との連携不足	その他
割合	23.8%	16.7%	13.5%	29.0%	46.8%	35.3%	30.6%	24.6%	7.1%	5.6%
件数	59件	42件	34件	72件	115件	81件	77件	59件	18件	14件

	活動資金の調達	情報発信手段の充実	組織体制の強化	活動内容のレベル向上	会員の確保・拡大	高齢化に伴う後継者不足	活動場所の確保	活動成果の発表場所の確保	他団体との連携不足	その他
平成30年度	23.6%	12.9%	8.4%	28.7%	72.5%	50.6%	17.4%	19.7%	1.7%	2.8%
令和3年度	23.8%	16.7%	13.5%	29.0%	46.8%	35.3%	30.6%	24.6%	7.1%	5.6%

問10

コロナ禍における活動維持や地域の文化振興のための市に対する要望など

LA(3つ),n= 244件

	イベント開催のコロナ対策支援	練習・創作活動のコロナ対策支援	アクリル板等の感染防止器具の無償貸出	市有施設の使用手続き簡素化	フリーペーパー掲載やチラシ作成支援	市のHPやSNSを活用した活動の周知広報	IT技術活用支援(機械導入等)	IT技術活用支援(実施手法・事例の紹介)	その他	特に支援の必要ない
割合	30.7%	20.1%	42.2%	36.9%	20.1%	25.0%	5.7%	6.1%	11.9%	15.6%
件数	75件	49件	103件	90件	49件	61件	14件	15件	29件	38件

同封の返信用封筒に入れて返送いただくか、FAX（送信先：0166-25-8210）により御回答ください。

回答者（団体名）：

（御担当者電話番号： — — ）

（御担当者 E-mail： @ ）

◆令和2年2月以降（コロナ禍）の状況について該当する番号に○を記入してください。

問1 令和2年2月と現在（令和3年5月）との会員数の増減をお答えください。

- ① 減少した ② 変化なし ③ 増加した

問2 現在の会員の平均年齢（中心となる年齢層）をお答えください。

- ① 10歳未満 ② 10代 ③ 20代 ④ 30代 ⑤ 40代
⑥ 50代 ⑦ 60代 ⑧ 70代 ⑨ 80代以上

問3 現在の練習や創作活動などを行う頻度※をお答えください。

（イベントや発表の場を除く。※イベント予定の回答は問6でお答えください。）

- ① 週2回以上 ② 週1回程度 ③ 月1～3回程度
④ 半年に1回程度 ⑤ 年に1回程度 ⑥ 活動を行っていない
⑦ その他（ ）

問4 コロナ禍前と比較した練習、創作活動などの頻度の変化をお答えください。

- ① 減った ② 変化なし ③ 増えた

問5 今後の練習、創作活動などの頻度についての予定や考えをお答えください。

- ② 増やす（増やす時期： ） ② 現状維持 ③ 減らす

問6 令和3年度中のイベント・発表会などの開催（主催するもの）について、お答えください。 ②の場合は、[■開催時期]の選択と、括弧内の記載をお願いします。

- ① 令和3年4月～令和4年3月はイベントなどを開催する予定はない。
② 令和3年4月～令和4年3月に開催済み又は開催予定である。
→②について [■開催時期]（実績及び予定）
ア. 時期未定
イ. 1回目【 年 月】／その後【 回】開催

問7 【例年との比較】問5の回答について、コロナ禍でなければ（例えば令和元年度どおりならば）、令和3年度の開催時期がどのような予定であったのか、お答えください。 ③の場合は、[■開催時期] と[■実施回数] の記載をお願いします。

- ① イベントなどの開催は従来から行っていない。
② 隔年または周年開催などのため、もともと令和3年度の開催予定はない。
③ 年1回以上は実施していた
→③について [■開催時期]：【 年 月頃】（←複数あればその1回目）
[■実施回数]：年間【 回】程度

